

# ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・市民活動センター 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター  
TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555



## 船で世界一周

山田 精造

一昨年、船で世界一周し夢のひとつを実現。船は1.5万トン。船旅の主催者はNGOのピースボート。決め手は料金の安さ。98万円で可というので、他の船旅より100万円以上は格安。寄港先で国際交流もでき、若い人も多く、私の場合、未訪が12カ国あり、別々に行くよりまとめて安く行けるし、ガラパゴスにもオプション(30万円)で行けるといいうので決。コースは横浜、シンガポール、インド洋、ケニア、スエズ運河、地中海、大西洋、パナマ運河、カナダ、太平洋、ロシア、横浜。期間は96日間。乗客は563名。20代が43%、60歳以上が24%、女性が60%。車椅子の人も数組あり。

食事は3食の他に夜食もあり。朝・昼はビュッフェ(セルフサービス)、粥・味噌汁・納豆・海苔・梅干もあり。夜はコースメニューで、肉か魚か選択可。早朝・午後のティーもあり。ビールやワインなどは有料。もっと和食を、という人には夜、屋台が開店。別にバーもあり。船室内は禁煙。クインエリザベス2世やタイタニックのディナーもあり。夕食のメンバーは入れ替えあり。お目当ての人と一緒にされる可能性もあり。これでも不足で寄港地に上陸するなり美味を求めてさ迷う人あり。船内でカップラーメンを食べている人など様々。

船内では毎日多数の企画あり、退屈する暇なし。インターネットも可。ただし、ひどい船酔いになったり、無趣味の人にとっては辛い日々になるでしょう。どこで何をやっているかは毎朝発行される船内新聞を見ればOK。朝起きたら先ずラジオ体操をし、モーニングティー、朝食後は無料の語学講座(英・スペイン語)に参加。勉強好きなら中東紛争を探る講座に出、昼食後はコーラスで声を出し、午後は地球大学のパレスチナ問題の講義に出、アフタヌーンティーで一息入れ、夕食までデッキで読書かおしゃべりを楽しむ。夕食は会話をしながらゆっくり楽しみ、その後はダンスをするもよし、映画を見るもよし。屋台でおでんに日本酒で歓談するもよし。空手、ピンポン、碁、麻雀、音楽を楽しむ人といろいろ。そんなのは煩わしいと、ボーっと海を見ているのもよし、甲羅干しをするもよし、プールに入るもよし。

国際交流の一例。エリトリアの場合、事前に地元のNPOの希望を聞き、日本で机・イス・お粥・足踏みマシン・パソコンなどを集めて直接贈呈。地元の人と歌や踊りで交流(当方からは盆踊り等)、乗客も参加。

地球大学の一例。中東問題ではパレスチナとイスラエルの学生を招き意見を聞いたり、東チモールの人権活動家に講義をしてもらったり。ケニアでサファリに行き、ライオンが小象を襲うシーンを見た人もいる。

各寄港先にはオプションツアーの用意がある。赤道祭ではバナナの早食い競争、運動会では球入れ、騎馬戦等々。総航海距離は4.4万km、訪問国は合計22カ国。チップは事前に一括払い。昼間はTシャツ、短パン、サンダルで可。夕食時、ジーンズでも可。持ち込み荷物も制限なし。自転車持ち込みの人も数人あり。ボランティア活動をして安く乗船することも可。あなたも乗船してみたいはいかがですか。景気回復への経済効果も期待できそうです。



## 5月のファーストステップ講座&おしゃべり

山田精造氏は外国から来た方への日本語学習のお手伝い、朗読、高齢者施設での入浴補助など様々なボランティア活動に取り組み、合い間に長い休みをとって海外旅行を楽しんでいます。ピースボートでの船旅は2度に渡り、今回は山田氏から船旅の楽しみなどを写真を見ながら伺います。お話を聞いた後はおしゃべり会です。お茶を飲みながら日頃の活動について話し合ってみませんか。

日時：5月17日(土) 13:30~15:30

場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室

## 西東京ボランティア・市民活動センターの事務所を一箇所に統合

西東京ボランティア・市民活動センターは、4月1日、事務所を田無総合福祉センター4階に統合しました。今までは、田無総合福祉センターと保谷東分庁舎内の2箇所に分かれて業務を行っていましたが、1箇所で一元的にボランティア・市民活動推進の仕事をしていくことになりました。ボランティア活動、市民活動についての様々な相談をお受けしています。

■ 開所日・時間・・・月～土曜日 午前8時30分～午後5時（祝日・年末年始を除きます）

■ 場 所・・・田無総合福祉センター4階（田無町5-5-12）



### 強化プラン作成中

ボランティア・市民活動センターはこれから何をめし、何をするのか。これは大きな課題です。今、このことを検討し、市民に信頼されるセンター作りを行うために強化プランを作成中です。このプラン作成のための「強化プラン作成委員会」では、①センター運営の財源 ②運営体制 ③社会福祉協議会との関係 ④市民の皆さんに情報を発信することの大切さ ⑤センターはどのような人たちを対象とするか、等の課題を洗い出し、センターの強化プランの行動計画を立てる中で解決していこうとしています。ご期待ください。

### 「第3回ボランティアのつどい」実行委員募集

「ボランティアのつどい」は、ボランティアが企画する交流会です。第2回は「自分探しの旅へ」と題してパネルディスカッションを行いました。アトラクションでは田無養護学校の生徒による和太鼓が演奏されました。ボランティアのつどいに関心のある方、今年度のつどいを一緒に考えていきませんか。

【第1回打ち合わせ】

日 時：5月10日（土）13:30～ 場 所：田無総合福祉センター4階ボランティア活動室



### 三宅島に帰る日まで

三宅島から避難して早2年8ヶ月が過ぎようとしています。こんなに長引くなんて、誰が予想したでしょう。向台町の実家で母の介護をして1年が過ぎ、遠くに行けなくなり悩んでいたところ、柳沢の都営住宅に入居でき、本当にありがたく思っています。

主人は島で建設業に従事し、90歳の義母と娘と3人で何とか無事に暮らしていますが、季節がめぐると島の木の芽や鳥の声、潮の香りが思い出され、義母が元気なうちに島に戻りたいなあと思ってしまいます。現在は週4～5日は向台町の実家へ食事の支度に行き、時々飯田橋の東京ボランティア・市民活動センターで「ふれあいコール」という三宅島のお年寄りの方々へ電話をするボランティア活動へ出かけています。「おばあー元気？何してるー」と声をかけ楽しい会話をしてくれるのが私のストレス解消です。

ただ、心配なことがあります。島で障害者の会に携わっていたので、地域デイサービスに通所していた方々の顔が見えないのが不安です。都内でバラバラの生活をしている中、訪問するのは大変です。電話で声を聞き、励ますことしかできない自分が悲しくなります。ちらほらと帰島の言葉が聞こえてきますが、今は無理をせず、私にできる範囲で帰る日まで何らかの活動を続けたいと思っています。ぜったい帰れることを信じて皆も頑張ってくれると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

（柳沢町）北川 由紀

### 自立生活企画

「誰もが創造的で自立した生活を」を基本理念に自立生活プログラム、介護派遣、移送サービスの3事業を行っています。自立生活プログラムでは、自立生活に必要なノウハウや介護保障制度、介護者との関係等を学びます。長期プログラムは年間2～3回開催し、各10回程度のシリーズで行います。長期プログラム終了後に自立を前提とした個々に合わせた3日～1週間の個別プログラムを行っています。移送サービスでは、自立での外出が困難な方が、自ら積極的に社会参加を望む際の移動送迎での利用を目的とした移送サービスを行っています。介護派遣サービスでは、単に利用者のニーズに対しての介護サービス提供ではなく、利用者のニーズに対しての介護派遣サービスを行っています。その他、介護保障制度、不動産、福祉機器、住宅改造など様々なニーズに対しての個別相談利用業務も行っております。4月からは支援費制度の居宅介護の事業所として都の指定を受けております。（身体、知的、児童）

所在地 〒188-0011 西東京市田無町5-6-20 第2和光ビル202

TEL 0424-62-5999 FAX 0424-62-5955

ホームページ <http://members.jcom.home.ne.jp/ilplan/> e-mail: ilplan@jcom.home.ne.jp

NPO紹介

## “傾聴ボランティアきずな”誕生

昨年、西東京ボランティア・市民活動センター主催「傾聴ボランティア養成講座」（全8回）を修了した人たちが集まって、「傾聴を通して地域とのきずなを深め、社会並びに地域に奉仕」することを目的に、この3月「傾聴ボランティアきずな」（略称：「傾聴きずな」）を立ち上げました。

傾聴とは、相手の心に添って話を聴かせていただくことです。相手の立場を認め、共感することによって、話された方は心安らぐことができるでしょう。そのための基礎的訓練を受け基本的技法を学んだ人たちが、この「傾聴きずな」の仲間です。

どうか、淋しいとき、辛いとき、話をしたいとき、「傾聴きずな」の仲間がいることを思い出して、対話を求めてください。話をすることによって、一人でも独りぼっちではないと感ずることができるでしょう。

そして、傾聴ボランティア各人にとっても「傾聴きずな」が悩みや喜びを話し合い、勉強していく場所になることを約束しています。

すでに傾聴ボランティアとして活動を始めた仲間もいます。会則もできました。もうスタートラインは整いました。仲間のきずなを深め、地域とのきずなを強め、活動してまいります。よろしくご支援をお願いいたします。

### 「車椅子サポートボランティア」に参加して

昨年、私は東京スタジアム（現味の素スタジアム）FC 東京主催のJリーグ公式戦に観戦する車椅子のお客様の誘導および介助を行うボランティア活動に参加しました。

実のところは、サッカーが大好きなので「サッカーを身近に感じて」、社会に奉仕できるボランティアという言葉につられて興味津々で参加しました。さすがに初めての時は緊張ととまどいで疲労困憊してしまいましたが、その翌日には、車椅子のお客様の笑顔が忘れられずに、また参加したいという気持ちになっていました。そして2回目からは、少し余裕も出てきたように感じられました。それは何よりも観戦にみえるお客様は、どなたもサッカーに関しては熱狂的なサポーターであり、観戦の楽しみ方をわかっている方で、心が自然に通じ合えることが最大の理由でした。今後も出来る限り参加し、少しでもエキスパートに近づけたらと思っています。また、

積極的にボランティア活動に参加する人が、もっともっと増えることを願っています。そして、一人でも多くの障害者の方々に、気軽にスタジアムに来て、生でサッカーを見る楽しさを知っていただけたらと思います。

損保ジャパンちきゅうくらぶ（社会貢献活動ボランティア組織） 松永 恵美子



### ボランティア保険 Q&A

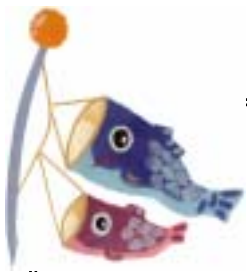
- Q 障害児のイベントに参加したボランティアが、暴れだした障害児ともみあっている間に、偶然障害児の腕がボランティアの目に当たり、コンタクトレンズを落としてしまった。ボランティア保険の対象になるか？
- A ボランティア保険ではボランティア本人の持ち物に関しては保障されません。コンタクトレンズはカメラやメガネと同様に、携行品とみなされ対象外になります。ただし、そのとき眼球を傷つけるなど怪我をした場合、傷害保険の対象になります。
- Q 上記の条件で主催者が行事保険に加入していた場合は？
- A 主催者側の過失により、上記の事故が起きた場合、携行品（この場合コンタクトレンズ）について賠償責任保険の対象になります。ただし、主催者側の過失が問えるかどうかの問題になります。怪我をした場合はボランティア保険と同様に傷害保険の対象になります。

#### ●ボランティア保険の対象は無償の活動に限ります

たとえ実際の活動に見合わない額でも、対価として支払われている金銭がある場合（1時間当たり、とか1つの作業に対していくら、というように支払われているもの、また支払われたときに源泉徴収済みのものなど）はボランティア保険の対象になりません。ただし、交通費、食事代、材料費など実費弁償程度は認められています。対価が支払われている場合、各保険会社にはボランティア保険以外にも様々な保険が用意されていますので、今一度ご確認のうえ、保険会社にご相談ください。

#### ●ボランティア保険の加入手続きはお済みですか？

平成15年4月1日から平成16年3月31日までの活動は新規に保険加入手続きが必要です。安心してボランティア活動をするために、活動日前には保険加入の確認をお忘れなく。



4月7日の入学式を済ませてから早2週間が経ちました。介助ボランティアを必死に探していた2月・3月の苦労が実って、20名を超えるボランティアの方に集まっていたいただき、息子怜の小学校生活が始まりました。学校側の配慮もあって、週3日は嘱託職員の先生が介助してくださっているので、実際には週2日、ボランティアのご協力を頂いています。校内での介助と学童クラブへのお迎えが中心です。

近隣に手配りしたチラシを見たり、商店に貼らせていただいたポスターを見たり、新聞に掲載された記事を見たり、ときかけは様々ですが、それぞれが「学校」に関心を寄せる方々です。怜の介助をしてあげよう、というお気持ちはもちろんなのですが、今、学校という場所でどのようなことが起きているのか知りたい、見たいというお気持ちをお持ちの方が多ようです。地域の学校が、市民の方に開放され、学校運営にも市民の協力を仰げるような関係がさらに深まる糸口になればいいなと感じています。(保谷町) 根本

**募 集**

**【生活訓練室】**

障害の重い心身障害者を対象に、作業や日常生活動作の習得などの生活訓練を行っている施設です。

内 容：晴天時の散歩の付き添い(車椅子介助)

日 時：毎週水曜日 9:30～12:00

集 合：9:00

場 所：西東京市東伏見 6-9-19

連絡先：(担当) 塚澤 TEL 0424-62-2223

**【特別養護老人ホーム フローラ田無】**

内 容：◆シーツ交換(日曜日の午前あるいは午後)

◆洗濯物たたみ(月・木の午前あるいは午後)

◆囲碁・将棋・オセロの相手、散歩介助、話し相手(何曜日でも。9:00～17:00)

※曜日・時間はご相談に応じます。

連絡先：(担当) 名倉 TEL 0424-68-5133

**【緑寿園デイサービス】**

内 容：◆デイサービス利用者の活動補助・お茶出し  
話し相手(水曜日 10:00～16:00)

◆洗濯室でのおむつ・おしぼりたたみ

(木曜日 10:00～15:00)

※時間はご相談に応じます。

連絡先：(担当) 郷田 TEL 0424-62-1188

**【土曜クラブ】**

ハイキングなど外出行事の障害児・者の付き添いで。体力に自信のある方、歓迎します。

日 時：毎月第4土曜日 9:00～15:00

集 合：西武新宿線田無駅

連絡先：八木 TEL 0424-66-3207

**【社交ダンスパートナー募集】**

障害者と健常者がペアを組んでダンスを楽しんでいます。参加者が主に女性のため、男性または男性のステップを踏める方を募集します。

日 時：毎月第1・第3木曜日 13:00～14:30

場 所：田無総合福祉センター2階視聴覚室

**【ひまわり】**

視覚障害者と共に踊るフォークダンスのサークルです。小金井公園でフォークダンスを一緒に楽しみませんか? 視覚に障害のある方もない方も歓迎です。

日 時：5月28日(水) 10:30～15:00

場 所：小金井公園東口入り口

時 間：10:30

※雨天の場合

場 所：西東京市民会館4階『竹の間』

集 合：10:30



※上記お問い合わせは、TEL 0424-66-3070  
西東京ボランティア・市民活動センターへ

**NPO法人連絡会で一緒に活動しよう!**

NPO法人連絡会は、毎月第3火曜日午前10時から開かれています。この連絡会は市内に拠点をもち、活動しているNPO法人が情報・意見交換をし、行政との協働のあり方を考え、NPO法人のネットワークを作るために活動をしています。すでにNPO法人となっている団体はもちろん、これからNPO法人の認証を得ようと考えている団体も参加OKです。

連絡先：西東京市NPO法人連絡会 代表：菅原範人  
TEL 0422-52-0908

**情報紙“ぼらんていあ倶楽部”を置いてくださるところをご紹介します**

現在、下記の公共施設、ファミリーマート中町店にご協力いただいておりますが、設置場所を増やすことによってより多くの方に読んでいただく可能性が広がります。ご自分のところでも、またお知り合いのところでもご紹介くださいますようお願いいたします。

**\*ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。**

西東京市社会福祉協議会 西東京ボランティア・市民活動センター 市役所  
公民館 図書館 地区会館 郵便局 老人福祉センター 福祉会館 消費者センター  
こもれびホール ふれあいセンター スポーツセンター ファミリーマート(中町店)